

#目的

- ◎ 薬学生が児童・地域住民を対象に薬の適正使用に関するクイズ形式の授業や体験実験を行う
→薬の適正使用や薬物乱用の危険性、セルフメディケーションの意義を広める
- ◎ 薬学生が児童・地域住民を対象におくすり手帳についての講義を行う
→実際に患者情報や処方薬をおくすり手帳に記入することで、その重要性について理解を深め、更なる普及を図る

#活動テーマ

「くすり教室」を通して、

- ①「薬の適正使用」を考える
- ②地域医療に貢献できる医療人の役割を学ぶ
- ③地域住民とのコミュニティを培う

